

主義的ストライキ反対の意味であらうが、そのことを云ふのならば我々は國家社會主義的ストライキにと反対である。

ストライキはせんじ政治的の主義によつて區別されるべきではなくて經濟的の理由によつて區別されるべきである。即ち資本主義社會の下に於ては、労働者は抑壓され、搾取されてゐる事は事實だ。故に労働者がストライキを決定し、それによつて幾分でもその搾取を奪ひ還へす見込みがつけば、いつでもとやむべきであり、また見込みがつかず、及つて悪い結果が来る様になりやむべきではない。唯だその見込みについては充分の研究と相當の経験と識見を要するにこそは云ふまでもない。

要するにストライキは直截簡明な經濟問題として取扱ふべき事と主張するのである。

政治運動に関する方針

總聯合の政治運動の方針とするところのものと短的に示せば左の四項である。

- 一、國家を尊重し、國情に即して運動するとの
- 二、資本主義打倒とその政治的目標とせるとの

三、社會主義統制經濟を實現し搾取の廢絶を期するとの

四、労働組合の政治的要求を遂行し、組合の擴大強化に役立つとの

これである。

而して最近經濟界の活況を呈せるに拘りず、それが寧ろ因子と成つて益々資本主義の没落を早めつゝある時、殊に政治的危機が次第に深刻化して行く現下の状態の下に、資本主義粉砕を最高の要件として新生する政黨は、當然に革命的の政黨でなければならぬのである。而して國家を尊重するといふ第一項で共產黨をいへ事は明らかである。而して第二項、第三項の資本主義制度粉砕、社會主義實現によつてフランスストでない事と明らかなである。然らば第四項を強力に主張することによつて社會民主主義政黨であるかと問はれるならば我々は明らかに「否」と答へる。

何故ならば我々は勿論第四項を要求する。しかし今日の如く次第に切迫し来る政治的、經濟的の状态の下に、我々が政黨に望むところは單に労働立法の制定ではない。實に資本主義粉砕の一大政治的決戦を望んでゐるのである。労働組合の行き方はこゝ